



私たちの明日をつくる
みなさまとともに明日をつくるパートナーでありたい

RPI
Regional
Planning
International.Co

株式会社 地域計画連合
福祉サービス評価室

令和4年度 指定管理者評価

江 東 区

江東きっずクラブ千田児童館

評価結果レポート

令和5年4月21日

株式会社 地域計画連合

◆令和4年度江東きつずクラブ千田児童館指定管理者評価項目

【項目別評価】		
i 事業運営	no.	指標
(1) 施設運営に関する基本方針が明確である	1	施設運営に関する基本方針を明示している
	2	施設運営に関する基本方針について、職員の理解が深まる取り組みを行なっている
	3	施設運営に関する基本方針について、利用者の理解が深まる取り組みを行なっている
	4	重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている
	5	重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している
(2) 協定書、事業計画書に沿った事業運営がされている	6	事業計画にそった実施計画を作成している
	7	事業計画の進捗を定期的に確認している
	8	進捗の結果をふまえて、必要に応じた調整や見直しを行なっている
(3) 長期計画等、区の施策方針に沿った運営がされている	9	事業計画を作成する際に、長期計画等区の施策方針を参照している
	10	長期計画等、区の施策方針を踏まえた内容を事業計画に反映している
(4) 緊急時対応マニュアルが整備されている	11	事業所の目標達成を阻害する恐れのあるリスクを洗い出し、優先順位をつけている
	12	事故等の発生にあたり、要因および対応を分析し再発防止に取り組んでいる
	13	緊急事態の発生を想定し、具体的な対応方法が明確になっている
(5) 個人情報保護が徹底されている	14	情報の収集、利用、保管、廃棄について規定・ルールを定め遵守する取り組みを行なっている
	15	情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定する他、情報漏えい防止の対策を取っている
	16	個人情報保護法の趣旨をふまえ利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規定・体制を整備している
ii 施設管理	no.	指標
(1) 衛生的な施設管理がされている	17	利用者のニーズに配慮した施設整備が行なわれている
	18	日常清掃と定期清掃を行い、衛生的な状態が保持されている
(2) 防犯・防災対策(設備)がされている	19	警備や訓練など、防犯・防災の取り組みを行なっている
	20	防犯・防災の設備を整えている
(3) 備品の適切な管理がされている	21	施設の備品に目に見える損傷はなく、使用可能な状態を保っている
	22	施設の備品と指定管理者の備品を区別した備品台帳を作成している
(4) 自然環境への配慮、緑化の推進がされている	23	自然環境への配慮が行なわれている
	24	緑化の推進に取り組んでいる
(5) 社会的弱者への配慮がされている	25	社会的弱者への使いやすさに配慮した施設整備が行なわれている
	26	社会的弱者の利用しやすさに配慮した施設運営が行なわれている

【項目別評価】		
iii 利用者満足度	no.	指標
(1) 区民に対する平等なサービス提供がなされている	27	平等なサービス提供を阻害する要因の排除に努めている
	28	平等なサービス提供となるよう取り組んでいる
	29	職員は、丁寧でわかりやすい利用案内・対応を行っている
(2) 苦情・要望の把握・対応が適切である	30	苦情解決制度など、第三者による相談先が利用できることを伝えている
	31	利用者意向について定期的に情報を収集し、ニーズを把握している
	32	利用者の意向に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある
(3) アンケートの評価が良好である	33	アンケート結果から、利用者の評価が改善される傾向が把握できる
	34	事業所の取り組みが目指す姿の実現につながっていることが結果から確認できる
(4) 利用者数の目標が達成されている	35	利用者数の目標値の考え方は理念にそっており、妥当な目標値となっている
	36	利用者数の目標を達成しており、達成のための手段が把握されている
(5) 地域社会等との連携が良好である	37	地域社会に対しどのような貢献をしていくかが明確になっている
	38	貢献の方針にそって、地域社会等との良好な連携を図っている
(6) 自主事業計画への取り組みがなされている	39	自主事業を事業計画等に位置付けている
	40	自主事業の取り組みを計画的に行なっている
iv コスト管理	no.	指標
(1) 適切な会計処理がなされている	41	経理担当職員が配置され、外部の監査等を受けている
(2) 経費縮減への効果がある	42	経費縮減に取り組み効果をあげている
(3) 収支計画が達成されている	43	収支決算が良好な状況となっている
(4) 財務診断結果	44	経営基盤が安定している

◆令和4年度 江東きっずクラブ千田児童館

指定管理者評価 【評価シート】

【項目別評価】		【評価】◎:とてもよい ○:よい △:最低限 ×:不適切		
i 事業運営	no.	指標	評価	【評価機関】まとめ
(1)施設運営に関する基本方針が明確である	1	施設運営に関する基本方針を明示している	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の評価受審後、各部門ごとに運営理念を作成し、児童館理念と法人がかかげるなないろこども像を理念としている。 ・きっずクラブ(学童クラブ)の「運営理念」と「なないろこども像」を玄関入口の正面の壁に掲げ、職員、利用者にも周知している。 ・また、入会説明会や地域連絡会の資料にも明示している。 ・調査結果から、職員や利用者にも運営理念の存在が認知されていることがうかがえる。
	2	施設運営に関する基本方針について、職員の理解が深まる取り組みを行なっている	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・全社員が参加する3部門合同のキックオフミーティングを毎年度始めに開催している。各部門の年度方針、目標、重点事業の柱などを発表し、全社員へ事業計画の周知や達成度を含めて確認している。 ・職員の理解を深めるため、計画方針の資料を配布し、目標設定の背景を伝えている。キッズクラブの年間指導計画には、職員で検討した3ヵ月ごとの目標を定めている。
	3	施設運営に関する基本方針について、利用者の理解が深まる取り組みを行なっている	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・きっずクラブでは、年1回の地域連絡会や保護者会を開催し、実施した事業の報告と次年度の計画の説明を行っている。 ・保護者会では、100人を超える児童の登録がある中で、保護者からの、子どもに提供される活動の内容や、預かり中の様子の把握についても伝えている。 ・地域連絡会では、民生委員や町会関係者の方々との今後の課題等の意見交換を行い、地域と連携した施設運営に繋げている。
	4	重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・決定手順については、案件に応じて適宜施設長と各部門リーダーの会議、部門での職員会議を持ち、検討と決定を行う仕組みとなっている。また、法人本部との検討、決定手順は、エリアマネージャーによる毎月の施設巡回時の面談や社用携帯を活用して適宜協議する手順となっている。 ・所管自治体と検討し決定する手順としては、毎月の定例館長会にて議題とし、現場の声を取り入れられる手順になっている。
	5	重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が参加する職員ミーティング、部門で行うミーティング時に直接周知している。ミーティングにて周知できなかった職員に対しても、ミーティングノートに記載し、全社員(パート含む)が目を通して情報共有をする体制が整っている。確認者は確認欄にサインし、誰が確認できているのかを記録として残している。 ・日頃より3部門の情報共有を図るため、「なないろ通信」にて3事業の1日の動き、特に気になることなどをA4-1枚のシートに記録し、全職員が目を通して確認している。 ・組織的な情報共有の仕組みは充実しているが、職員調査での無回答が減少するようさらなる周知を工夫したい。

◆令和4年度 江東きつずクラブ千田児童館

指定管理者評価 【評価シート】

【項目別評価】		【評価】◎:とてもよい ○:よい △:最低限 ×:不適切		
(2)協定書、事業計画書に沿った事業運営がされている	令和4年度指定管理者評	事業計画にそった実施計画を作成している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画に基づき、年度始めに各事業の役割分担等を記した実施計画(年間指導計画)を作成している。 ・年度始めのキックオフミーティングや部門ごとの職員会議にて実施計画を周知し、運営している。計画は、保護者や子どもにも周知している。 ・年間指導計画は事業計画として位置付けていることから、児童支援に限定せず、地域連携や、保護者支援、危機管理など、事業運営に必要な内容を含めたものとしておきたい。
	7	事業計画の進捗を定期的に確認している	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・部門でのミーティングにて、事業計画記載内容の進捗確認を毎月行い、全体で確認できる体制としている。また、その内容はミーティングノートに記録し、全社員への状況の共有を図っている。
	8	進捗の結果をふまえて、必要に応じた調整や見直しを行なっている	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・進捗状況の結果に合わせ、事業計画どおりに進めていけるように実施時期や時間、内容や実施方法等を職員ミーティングにて検討、調整している。 ・年度始めに立てた実施計画は状況に合わせて内容や担当等を見直し、利用者ニーズも取り入れながら滞りなく実施できるようにしている。 ・利用者の意見を踏まえて、玩具の補修に対応した他、コロナ禍で中止していた観劇会などの課外活動の再開も徐々に進めている。
i 事業運営	no.	指標	第三者評価	【評価機関】まとめ
(3)長期計画等、区の施策方針に沿った運営がされている	9	事業計画を作成する際に、長期計画等区の施策方針を参照している	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・区の基本構想および長期計画の内容は、区内全体での毎月の館長会にて情報を把握するとともに、事務室内に区の長期計画資料を設置し、全社員がいつでも確認できるようにしている。
	10	長期計画等、区の施策方針を踏まえた内容を事業計画に反映している	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・区の基本構想および長期計画の内容を施設の事業計画に反映させ、区の方針に基づいた事業計画を作成している。新たに区の方針が示された際は、部門ごとの職員会議の場で事業への反映をすぐに検討し、実行できている。

◆令和4年度 江東きつずクラブ千田児童館

指定管理者評価 【評価シート】

【項目別評価】		【評価】◎:とてもよい ○:よい △:最低限 ×:不適切	
(4) 緊急時対応マニュアルが整備されている	11	事業所の目標達成を阻害する恐れのあるリスクを洗い出し、優先順位をつけている	◎ <ul style="list-style-type: none"> ・法人にて策定している「安全管理マニュアル」にて、地震や火災等の災害に加え、不審者対応等をリスクとして位置づけ、対応をマニュアルをフローチャート式で整備している。フローチャート式のため、対応の優先順位を明確化し、全社員が一定の対応をとれるようにしている。 ・毎日の安全点検を安全点検チェックシートをもとに行い、不具合の早期発見、早期対応に努め、利用者の安全を確保している。 ・室内で多くの児童の安全を確保するために、安全上の課題を洗い出しリスクマネジメントシートに起こし、事例について検討する取り組みを行っている。 ・職員調査の結果をみると、リスクの優先順位について、更に職員への周知を図っていきたい。
	12	事故等の発生にあたり、要因および対応を分析し再発防止に取り組んでいる	◎ <ul style="list-style-type: none"> ・事故内容は、指定の様式を用いて、事故報告書やリスクマネジメントシートにて記録し、要因と対策を整理している。 ・部門ごとにセーフティキーパーを配置し、中心となって安全管理に努める体制としている。また、法人内のセーフティキーパーの情報共有や育成を図る目的として、年4回セーフティキーパー会議を開催し、施設の垣根を超えて事故の分析を行う組織作りをしている。 ・キッズクラブでは、子どもとともに「危険予知トレーニング」に取り組み、防災をテーマにした参加型プログラムの一つとして実施している。内容は、イベント指導演・報告書にその成果をまとめている。 ・職員調査では、事故の再発防止への徹底は、100%となるなど、徹底が図られている。
	13	緊急事態の発生を想定し、具体的な対応方法が明確になっている	◎ <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の連絡手順を事務室内に掲示し、弊社の安全管理マニュアルに記載するフローチャートに沿って対応時の動きを具体的に示している。 ・全社員が普通救命講習やさすまた講習を受講し、緊急時対応に必要な知識を身につけ、備えている。 ・毎月実施している避難訓練(地震・火災・水災害・不審者対)は利用者を交えて行い、緊急時の動きや利用者へ必要な対応を確認している。 ・171訓練、WEB171(NTT伝言ダイヤル)訓練を実施している。 ・事業継続計画は、法人の全事業所を対象として2020年度に作成、地震、風水害を想定した対応を定めている。これを活用し、事業所の安全対策の更なる強化への活用ができれば、さらに強化されうる。

◆令和4年度 江東きつずクラブ千田児童館

指定管理者評価 【評価シート】

【項目別評価】		【評価】◎:とてもよい ○:よい △:最低限 ×:不適切		
(5)個人情報保護が徹底されている	14	情報の収集、利用、保管、廃棄について規定・ルールを定め遵守する取り組みを行なっている	◎	<ul style="list-style-type: none"> 法人として取得しているプライバシーマークの基準に沿い、個人情報の管理を徹底している。個人情報の収集から利用、保管、廃棄においては、区の基準の遵守および弊社の個人情報取り扱いマニュアルの手順を遵守している。 個人情報資料を使用する際は、個人情報管理表に使用する物と職員名、時間を記録し、管理を徹底している。また、個人情報の廃棄時は廃棄記録表に内容と枚数を記録し、必ず2名以上の職員で確認している。 職員用「個人情報取り扱いマニュアル」には、保護規定の主旨に加えて、パソコンやUSB、デジタルカメラの取り扱いなど、実践的な対応方法を明示している。
	15	情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定する他、情報漏えい防止の対策を取っている	◎	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報資料は全て鍵付き書庫に保管し、使用時以外は鍵付き書庫内での保管を徹底している。また、個人情報資料を書庫から取り出す際は「個人情報管理表」へ取り出した時間と戻した時間を記録し、管理を徹底している。 個人情報には、その重要性や機密性に応じて、アクセス権限を設定している。PC内にて管理している個人情報データは、オフライン専用のPCにて管理し、情報漏洩防止に努めている。 SNSの普及を踏まえた留意事項については、職員向けマニュアルに記載して注意喚起している。
	16	個人情報保護法の趣旨をふまえ利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規定・体制を整備している	◎	<ul style="list-style-type: none"> 取得する個人情報の利用目的を窓口に掲示し、利用者に対して明示している。開示請求においては、区の方針に沿って、所管課のマニュアルに準じて連携した対応がとれる体制となっている。
ii 施設管理	no.	指標	第三者評価	【評価機関】 まとめ
(1)衛生的な施設管理がされている	17	利用者のニーズに配慮した施設整備が行なわれている	◎	<ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケートや日々のコミュニケーション、日常的な利用者との関わりを通じてニーズを把握し、施設設備に反映させている。室内のレイアウトや掲示物を随時更新し、過ごしやすい空間づくりをしている。また、聴覚障害者向けの筆談ボードを設置するなどの配慮も行っている。 外国人利用者の対応ができるよう、タブレットに翻訳できる機能を備えている。
	18	日常清掃と定期清掃を行い、衛生的な状態が保持されている	◎	<ul style="list-style-type: none"> 日常清掃、定期清掃ともに専門業者が入り、常に清潔な状態が保たれている。専門業者との窓口は法人エリアマネージャーが努め、情報共有が迅速に行われる体制を構築している。 職員による安全点検時には館内の衛生面の確認も行い、汚れ等が無い確認し、すぐに対応する体制が整っている。館内のテーブルや玩具、部屋の清掃など必要に応じて職員による清掃を行っている。 館内のテーブルや玩具、部屋の清掃など職員も適宜清掃を行い、常に衛生的に保つようしている。

◆令和4年度 江東きつずクラブ千田児童館

指定管理者評価 【評価シート】

【項目別評価】		【評価】◎:とてもよい ○:よい △:最低限 ×:不適切	
(2)防犯・防災対策(設備)がされている	19	警備や訓練など、防犯・防災の取り組みを行なっている	◎ <ul style="list-style-type: none"> ・児童も参加する避難訓練(地震・火災・水災害・不審者対)を原則毎月実施し、緊急時の動きや児童へ必要な対応を確認している。 ・消防署や警察署から講師を招いての講習を実施し、さすまた講習や救命講習を受講することにより、防犯・防災への職員意識を高める取り組みを行っている。 ・最近の対応の一つとして、災害伝言ダイヤルへの職員の登録なども推進している。 ・職員調査の結果では、防犯対策への満足度は100%となった。
	20	防犯・防災の設備を整えている	◎ <ul style="list-style-type: none"> ・当館は区の第二次避難所の位置づけとなっていることから、区の方針に基づいた非常食を備蓄、法人にて職員用の備蓄物資や防犯用品を設置し、緊急時に備えている。また、区の避難所開設マニュアルを事務室内に設置し、全社員が確認できるようにしている。 ・避難訓練の機会を活用して、備蓄品である災害時食を食べる経験なども行っている。
(3)備品の適切な管理がされている	21	施設の備品に目に見える損傷はなく、使用可能な状態を保っている	◎ <ul style="list-style-type: none"> ・毎日実施している安全点検の他、年3回の備品チェックを行い、損傷が無いか、適正に使用されているかの確認をし、すぐに修繕等の対応が取れるようにしている。 ・区の方針に沿い、年度始めと年度末に、備品の管理状況を報告し、損傷がある場合には適切な修繕対応を検討、連携している。
	22	施設の備品と指定管理者の備品を区別した備品台帳を作成している	◎ <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれに備品台帳を作成し、区別した管理をしている。また、区の備品にて備品シールを貼り付け、備品番号とともに確認ができる管理となっている。
(4)自然環境への配慮、緑化の推進がされている	23	自然環境への配慮が行なわれている	○ <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境への配慮として、節電(間引き)、節水(掲示で呼びかけ)の取り組みを行っている。また、空調のフィルターをこまめに洗浄し、運転効率が向上するようにメンテナンスに力を入れている。 ・職員や児童ともに、ごみの処分の仕方について指導を行い、分別やごみを増やさない対策(裏紙使用、切り刻む、つぶす)を行い、自然環境への意識を高めている。 ・空き箱等の資源を再利用したエコ工作等を実施し、資源の有効利用に努めているが、さらなる充実を図りたいとしている。
	24	緑化の推進に取り組んでいる	○ <ul style="list-style-type: none"> ・屋上緑化の花壇を設置し、千田福祉会館利用者・児童館利用者と共に「千田村」として植物の栽培を行っている。館周りの植栽管理は専門業者が入り、緑化維持をした館運営を行っている。 ・コロナ禍の収束に伴い、徐々に、児童館の屋上運動場の利用などで連携を図っており、公園への外出機会の充実も視野にいれている。

◆令和4年度 江東きつずクラブ千田児童館

指定管理者評価 【評価シート】

【項目別評価】		【評価】◎:とてもよい ○:よい △:最低限 ×:不適切	
(5) 社会的弱者への配慮がされている	25	社会的弱者への使いやすさに配慮した施設整備が行なわれている	◎ ・施設内は、誰でもトイレや手すり、点字ブロックの設置、筆談ボードや車いすを用意し、いつでも使用できるように整備している。 ・フロア内の通路幅を確保し、車いすの方も不便なく使用できるように配慮している。
	26	社会的弱者の利用しやすさに配慮した施設運営が行なわれている	◎ ・誰でも一定のサービスが受けられるように事業の参加費は原則無料にて実施し、生活環境に関係なく、どの児童も平等に楽しめる材料の準備や機会の設置を図っている。 ・要配慮児童が安心して集団生活を送れるように働きかけている。職員は外部の「配慮を要する児童対応」の研修を受け、専門的な知識を身につけて対応にあたり、声掛けの仕方等の工夫をしている。 ・今年は障害児の受け入れにも取り組んでいる。年3回「巡回相談」という形で、専門の相談員によるアドバイスを必要な児童数名が受けている。そうした機会に、幅広く対応のアドバイスを受け、運営に活かしている。
iii 利用者満足度	no.	指標	
(1) 区民に対する平等なサービス提供がなされている	27	平等なサービス提供を阻害する要因の排除に努めている	◎ ・利用者の声を集めるシステムとして、法人内に相談窓口を設け、ホームページや電話でのお問い合わせ受付や、施設に設置しているご意見箱より把握し、平等なサービスが提供できているか確認している。利用者から寄せられた声は内容を確認の上で館長と共有し、その都度利用者サービスの改善、全職員への周知を行っている。 ・年1回「保護者アンケート」を実施し、全保護者が無記名で意見を述べられる機会を作っている。 ・保護者からの意見をもとに、希望の多い、運動系のプログラムを改善したり、室内で過ごしている様子の掲示などを行っている。
	28	平等なサービス提供となるよう取り組んでいる	◎ ・スポーツ系や文科系(工作、英語など)の多彩な事業を取り入れ、児童が好きなことを選んで取り組めるよう工夫している。 ・事業の参加は無料で、児童が平等に楽しめる材料の準備や機会の設置を図っている。
	29	職員は、丁寧でわかりやすい利用案内・対応を行っている	◎ ・児童や保護者が安心して利用できるように、信頼関係を第一に、児童に寄り添った対応を大切にしている。また、職員によって対応が異なることがないよう、職員ミーティングで対応について共有し、一定の対応をとるように徹底している。 ・今回の利用者アンケート結果においても、職員の対応に好意的な意見が多く寄せられているが、今後も児童や保護者の声を聴き、より良い運営を目指していく。

◆令和4年度 江東きっずクラブ千田児童館

指定管理者評価 【評価シート】

【項目別評価】		【評価】◎:とてもよい ○:よい △:最低限 ×:不適切	
(2) 苦情・要望の把握・対応が適切である	30	苦情解決制度など、第三者による相談先が利用できることを伝えている	◎ ・法人本部に設定している相談窓口の連絡先を掲示し、利用者が第三者への相談を迷いなく行える体制が構築されている。 また、館内に設置しているご意見箱への投函による相談、問い合わせも可能にしておき、気軽に相談できる環境を整備している。 ・職員調査では、苦情要望の把握や対応については、88%と高い認識となっている。
	31	利用者意向について定期的に情報を収集し、ニーズを把握している	◎ ・開館以来、児童の声を運営に反映させるための「リクエストボックス」を室内に設置しており、毎月5件程度の意見が寄せられている。参加したいイベントやおやつメニューのリクエスト、遊びたい遊具等といった児童の声を収集し、運営に反映させている。 ・年1回保護者アンケートを実施している。アンケートのご意見は、反映できることは実施に努めている。 ・入会説明会、保護者会、個人面談を実施し、保護者のご意見や児童の情報収集努め、ニーズを把握している。 ・職員調査では、利用者意向の把握や、目指す姿の実現につながっていることができると思う割合は100%であり、徹底した対応とその成果は職員にもしっかり認知されている。
	32	利用者の意向に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	◎ ・苦情等を受けた際は、弊社の「苦情対応マニュアル」に沿って適切に一定の対応を取る体制が整っている。 ・アンケート結果から得られた意見については、短期的、長期的な課題に分けて対応を行っている。短期的な意見は部門ごとの職員会議にて対応を検討し、事業の仕組みに関わるものについては、年度末の事業の振り返りで取り上げ、次年度の事業内容に反映している。 ・アンケート集計結果は、掲示にて開示している。アンケート結果より回答の必要なものは地域連絡会で回答し、周知に努めている
(3) アンケートの評価が良好である	33	アンケート結果から、利用者の評価が改善される傾向が把握できる	◎ ・毎年の利用者アンケート結果を比較し、改善度の確認や前年度との変化を分析し、把握している。事業の充実を図る声が毎年多く寄せられるため、保護者会や個人面談の場でも、児童や保護者の声を収集して把握している。
	34	事業所の取り組みが目指す姿の実現につながっていることが結果から確認できる	◎ ・利用者アンケート結果では、90%のご家庭から、きっずクラブが「楽しい」「居心地が良い」と回答があり、「第二の家庭となるようなあたたかい居場所」としていく取り組みの成果を毎年確認することができている。 ・体を動かして遊ぶ機会を求める声を前年は多くいただいているが、今年度は福祉会館の洋室、近隣小学校の校庭や体育館の利用を増加させ、クラブ室内でも運動ができるように活動場所のすみ分けを図り、ニーズを取り入れた運営を行うことができている。今年度のアンケートではクラブへの感謝の言葉を沢山いただくことができ、改善が結果に現れていると感じる。

◆令和4年度 江東きつずクラブ千田児童館

指定管理者評価 【評価シート】

【項目別評価】		【評価】◎:とてもよい ○:よい △:最低限 ×:不適切		
iii 利用者満足度	no.	指標	第三者評価	評価項目のまとめ
(4)利用者数の目標が達成されている	35	利用者数の目標値の考え方は理念にそっており、妥当な目標値となっている	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・きつずクラブはここ近年毎年100人以上の登録があり、急な増減もなく順調な運営ができています。運営理念に沿った運営が行われ、児童が自主的に活動できており、成長が感じられ成果も実感できています。 ・一方、人数以上に、子どもから寄せられる”楽しい”という声が、職員にとってのバロメーターと感じられています。
	36	利用者数の目標を達成しており、達成のための手段が把握されている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの児童(9割近く)の児童が、3年生まで在籍している。家庭との連携、情報共有を大切にしているため、継続した利用に繋がっている。 ・職員調査の結果では、目標指標の認知度は、8割を下回っている状況となっている。事業目的の共有とあわせて、何でそれを測っていくのか、職員の目標数値への理解を深めたい。
(5)地域社会等との連携が良好である	37	地域社会に対しどのような貢献をしていくかが明確になっている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響によりここ数年は地域との交流事業を控えている中で、今年度は福祉会館利用者へ手作りのしおりをプレゼントし、児童と高齢者の世代間交流に繋げている。 ・コロナ禍の収束にあわせて、福祉会館の茶道クラブへの参加、千田まつりや、盆踊りへの参加も視野に入れている。 ・より具体的な地域への働きかけとしては、地元でのごみ広い活動を地域の方々で行うことを検討しており、今後に期待したい。
	38	貢献の方針にそって、地域社会等との良好な連携を図っている	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度は川南小学校の川南まつりに千田児童館ブースに職員が参加し、PTAと連携をとっている。 ・館長は、地域の防災訓練や地域会議に参加し、地域との連携を図っている。
(6)自主事業計画への取り組みがなされている	39	自主事業を事業計画等に位置付けている	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業は、弊社独自のプログラムである「なないろプログラム」として英語とスポーツイベントを行っている。学習指導要領の動向、利用者のニーズを踏まえて設定し、実施時期も事業計画に明示している。
	40	自主事業の取り組みを計画的に行なっている	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・実施している自主事業は、全て年間事業計画に記載し、年度始めキックオフミーティングにて全社員に周知し、計画的に実行している。 ・なないろプログラムは、英語とスポーツイベントを選任の講師より行い、毎月発行しているおたよりに掲載して児童や保護者に周知している。

◆令和4年度 江東きッズクラブ千田児童館

指定管理者評価 【評価シート】

【項目別評価】		【評価】◎:とてもよい ○:よい △:最低限 ×:不適切		
iv コスト管理	no.	指標	第三者評価	評価項目のまとめ
(1)適切な会計処理がなされている	41	経理担当職員が配置され、外部の監査等を受けている	◎	・施設にて毎月の経費使用に関する出納帳を作成し、顧問税理士の指導の下、経理規定に沿った会計処理を適切に遂行している。
(2)経費縮減への効果がある	42	経費縮減に取り組み効果をあげている	◎	・印刷時に両面印刷、裏紙使用の推奨、消耗品等の購入時は値段比較を行い、適切な物品を購入、複数事業者に見積り依頼といった取り組みを通じて、経費削減に努めている。
(3)収支計画が達成されている	43	収支決算が良好な状況となっている	◎	・毎年の収支決算は、収支計画どおりに適切に予算執行ができてい る。 ・職員調査の結果では、収支や財務に関する職員の回答は、無回答が3～4割となるなど決して高くないため、必要に応じて、職員への意識啓発も検討したい。
(4)財務診断結果	44	経営基盤が安定している	◎	・財務診断結果は毎年問題無く、安定した経営が行われている。

◆令和4年度 江東きッズクラブ千田児童館

指定管理者評価 【評価シート】

【項目別評価】	【評価】◎:とてもよい ○:よい △:最低限 ×:不適切
全体講評	
良い点1	<p>アンケート等で得られた意見に基づく改善を重ね、登録者100名のクラブ運営に活かしている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館以来、児童の声を運営に反映させるための「リクエストボックス」を室内に設置し、子どもたちから参加したいイベントやおやつメニューのリクエスト、遊びたい遊具等といった児童の声を収集している。また、年1回保護者アンケートを実施し運営に反映させてきた。 ・グラウンドが無く運動遊びができる場所が無いため、毎年の保護者アンケートで運動の機会を増やしてほしいとの要望には、福社会館の洋室や屋上を利用し、運動できる機会を作っている。今年度は夏休みや冬休みに近隣の小学校の体育館を利用したり、小学校内のきッズクラブと交流を図り、一緒に校庭遊びを行う機会も増やしたことで大変好評となった。 ・平成29年度の受審時と比べ、子どもの総合満足度は大きく伸びた。職員調査では、利用者意向の把握や、目指す姿の実現につながっていることができると思う割合は100%であり、徹底した改善により、職員も成果の手応えを実感している。
良い点2	<p>子どもの権利擁護から、子どもの主体性が強く意識され、子どもが主体となる活動が行われている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの権利条約の批准や、児童福祉法の改正によって、子どもの権利擁護から、子どもの主体性がより強く意識されるようになって、キッズクラブにおいても、より一層、子ども主体の取組みに力をいれている。 ・室内の壁面作品は、児童がデザインを考え、花火や海中の生き物の壁面等、児童が主体となって制作を行い、自主性や主体性を高める取組みに繋がった。 ・夏休みには、ストレッチ時間を設け、児童が先頭に立ってお手本を行ったり、お誕生会の進行を児童が中心となって行えるように働きかけている。帰りの会も、大人がお膳立てするだけでなく、子どもの意見を取り入れた運営に取り組んでいる。 ・危険予知トレーニングでも、子どもが中心となってリスクについて考える様子が報告されているなど、児童主体となるきッズクラブ運営が進展している。
良い点3	<p>法人の資源が生きる”なないろプログラム”の自主事業で、来館の魅力を高めている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主事業として実施する”なないろプログラム”は、英語とスポーツイベントを行い、専門性のある講師を獲得して展開している。体操の場合は、ジムインストラクターおよび教員資格所有者を講師とした親子体操を行っている他、英語は、英会話学校を展開していた法人の海外事業展開のネットワークが土台となったネイティブ職員によるプログラムとなっている。 ・学習指導要領の動向、利用者のニーズを踏まえて設定し、実施時期も事業計画に明示しキックオフミーティングにて全社員に周知し、計画的に実行している。 ・こうした自主事業の内容は、毎月発行しているおたよりに掲載して児童や保護者に周知している。

◆令和4年度 江東きっずクラブ千田児童館

指定管理者評価 【評価シート】

【項目別評価】	【評価】◎:とてもよい ○:よい △:最低限 ×:不適切
<p style="text-align: center;">職員のスキルアップが進む中、職員育成の一環として、事業方針や目標を理解する取組みを期待したい</p> <p>改善点 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学童クラブ職員として、専門職である自覚を高め、社歴別や事例検討会等の研修、外部研修にも年2回以上参加し、常に自己研鑽に努めている。さらに、児童一人ひとりの特性を理解し、自立に繋がる支援ができるよう、職員のスキルアップを強化している。 ・一方、きっずクラブは、5年前と比較した利用者満足度の結果も着実に伸びており、登録利用者も順調に増えているなど順調に推移している。一方、今回の職員調査で満足度が低かった項目は、事業の方針や目標設定などマネジメントに関するものに課題が見られた。 ・職員が業務に従事する上で、事業の方針や目標設定は一見、関係がないように見えるが、日々の仕事の意味を自分事として理解し、モチベーションを高める上では、目標や方針を自分に関係あるものとして捉えることが重要と思われる。職員育成の一環として、事業方針や目標を理解する取組みを期待したい。 	
<p style="text-align: center;">学外の複合施設にある強みを生かし、児童館・福祉会館との交流事業や地域貢献事業の実施が期待される</p> <p>改善点 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここ3年間はコロナ禍の影響により児童館や福祉会館、地域と繋がる事業が実施できず、地域の方をお招きしての事業も自粛していた。コロナ禍が収束に向かう中、児童館と福祉会館が併設している利点を生かした事業を充実させたいと考えている。 ・児童館との合同事業や福祉会館利用者と将棋や囲碁、その他軽スポーツを通じて交流し、多世代交流を盛んにし、特に福祉会館利用者との交流では、盆踊りや文化体験等を体験する機会とし、児童の興味関心や社会性を高める場としていきたい。また、近隣小学校内きっずクラブとの交流も積極的に再開していくことができるだろう。 ・今年度から地域に出での活動を再開しており、今後は地域の方々を講師にお招きして行う将棋や卓球等の事業実施、遠足や清掃活動等にて地域に出での活動を企画し、きっずクラブが地域活動に貢献できる機会を設けることが期待されている。 	
<p style="text-align: center;">事業報告書と対をなす事業計画書として、年間事業計画の目標を具体的に描き、PDCAを深めたい</p> <p>改善点 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画を事業計画として見直し、目標を具体的に描き、組織に根付いたPDCAサイクルを回すことで、事業の羅針盤としていきたい。 ・現状は、計画に位置付けた企画ごとに実施計画をたて、毎月、進捗状況を確認し、職員会議などで振り返りを行い改善のPDCAサイクルを定着させるなど、企画ごとの対応は徹底されている。 ・年間指導計画は事業計画として機能させるには、内容を児童支援に限定せず、地域連携や、保護者支援、危機管理など、事業運営に必要な内容を含めたものとしておきたい。その上で、半期ごと、また必要な項目は4半期ごとにさらに具体的な目標にすれば、より計画確認の精度は高まるとと思われる。 ・計画に取り入れる場合には、“全職員が一丸となって頑張ってみよう”だけでなく、今期のいつごろまでに、どのように、どの程度の効果を上げたいのか、そのために誰が何をやるのかなど、詳細な目標を立案し、PDCAを深めていきたい。その際に、実現可能性にとらわれすぎず、目標を具体的に描くことを重視したい。 	